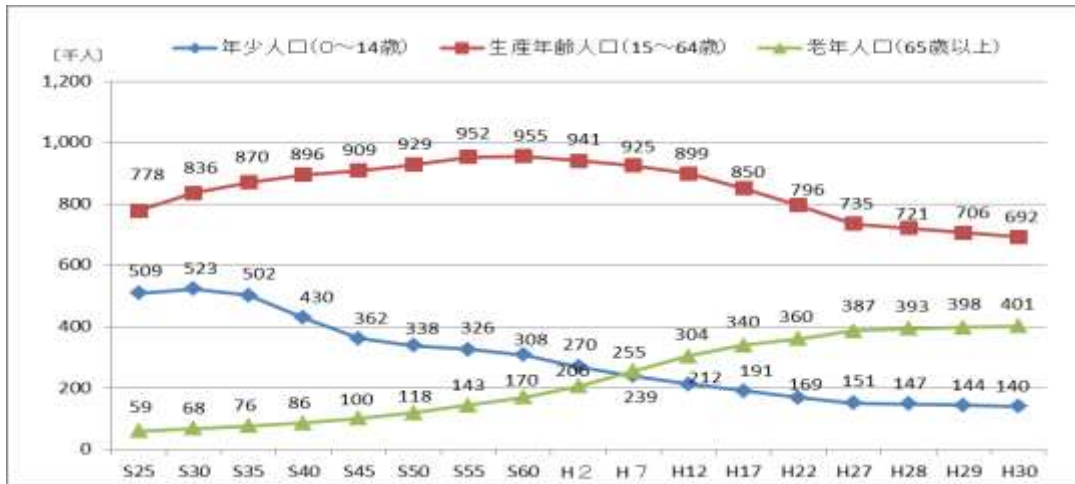


1 青少年を取り巻く環境

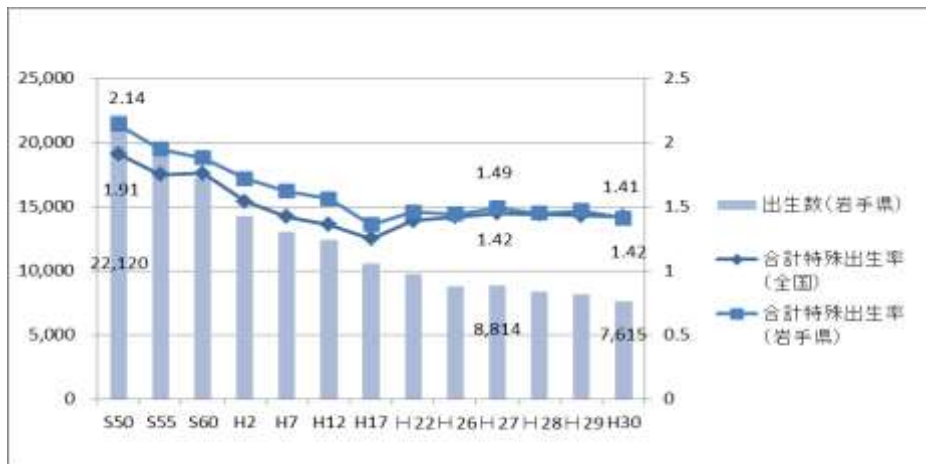
1) 人口減少・少子高齢化の進行（世代間、地域間の格差）

図1 本県の年齢（3区分）別人口の推移（昭和25年～平成30年）



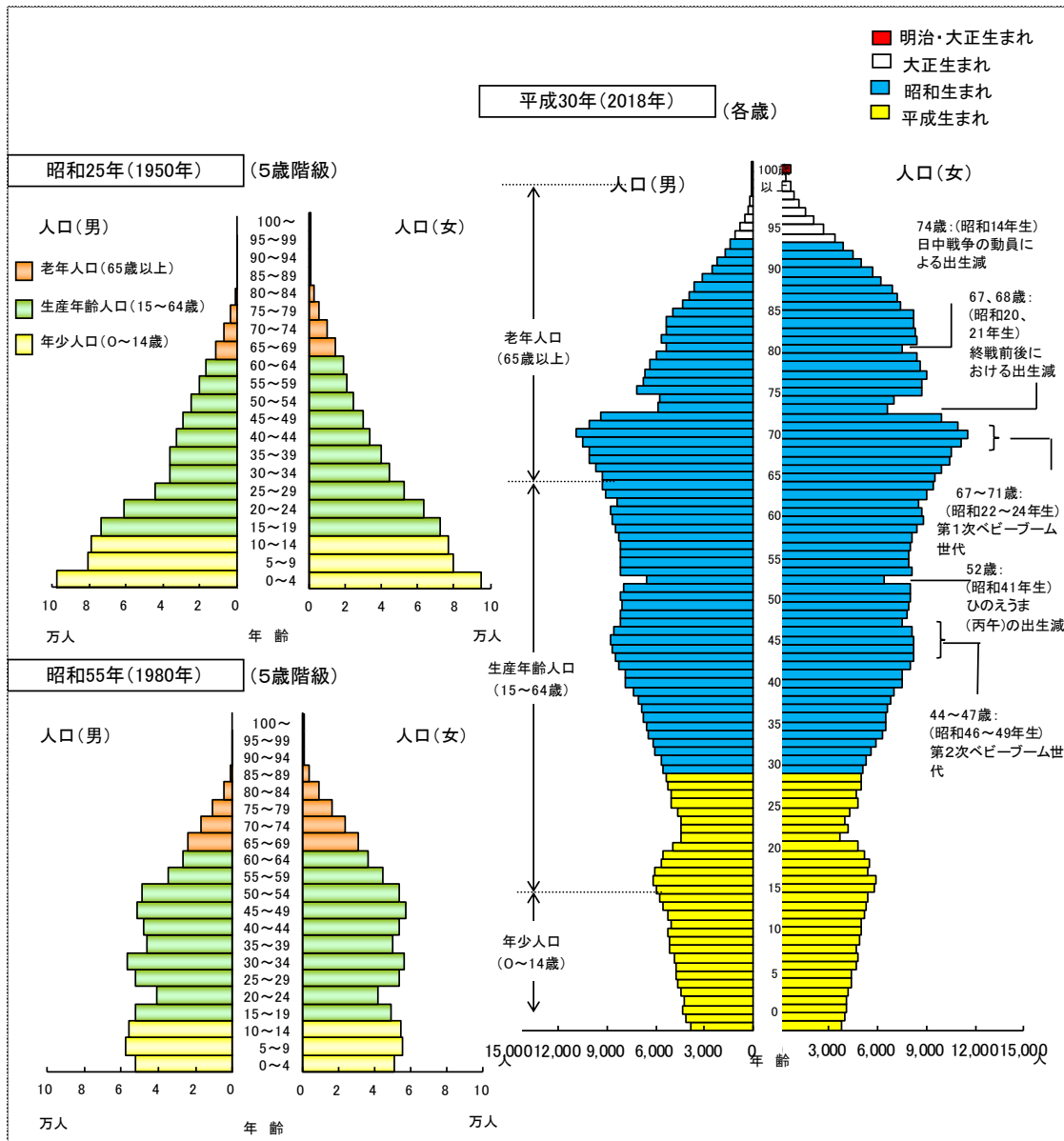
(出典)：総務省統計局「国勢調査」、平成28年以降は県政策地域部「岩手県人口移動報告年報」

図2 出生数と合計特殊出生率の推移



(出典)：厚生労働省「人口動態統計」

図3 本県の人口ピラミッド（昭和25年、55年、平成30年）



(出典) ; 総務省統計局「国勢調査」、平成27年以降は県政策地域部「岩手県人口移動報告年報」

2) 雇用・経済の動向（雇用情勢の改善と若者の就労状況の変化等）

図4 就業者（16～64歳）の推移（全国：％）

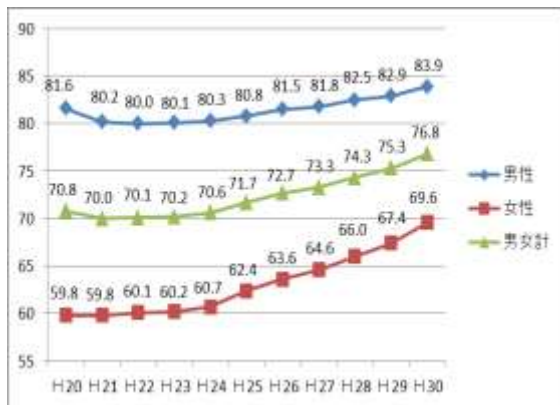
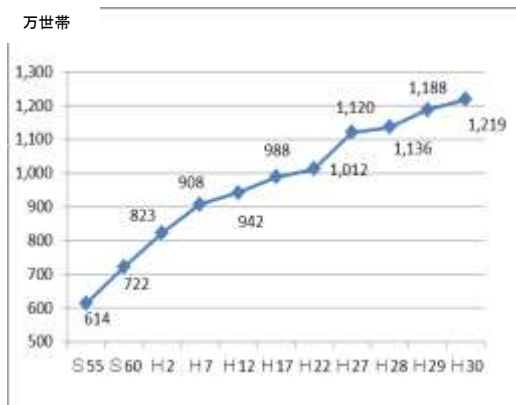


図5 共働き世帯の世帯数の推移（全国：万世帯）



(出典) 総務省統計局「労働力調査」

図6 新規高校卒業者の就職内定率（平成30年度 岩手県）

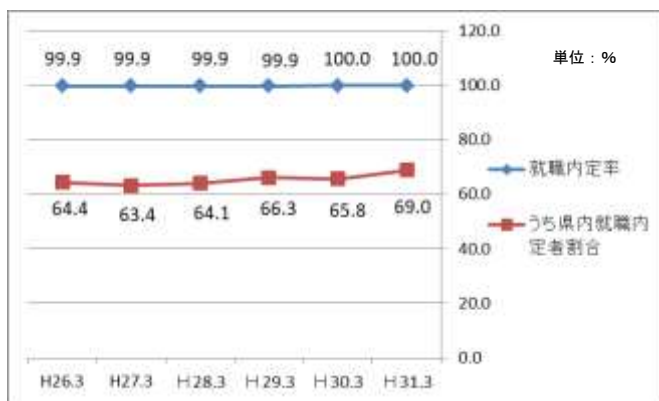


図7 新規大学卒業者の就職内定率（平成30年度 岩手県）

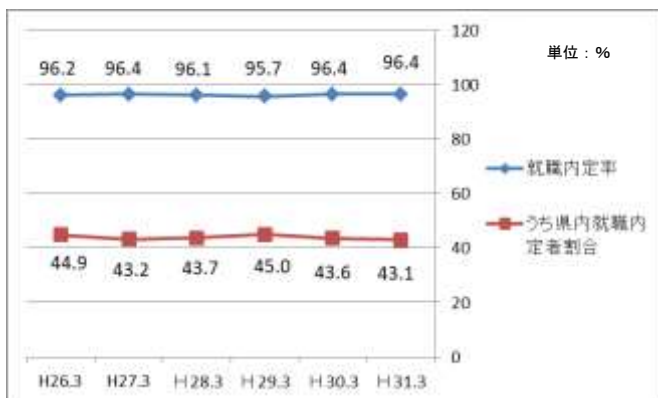
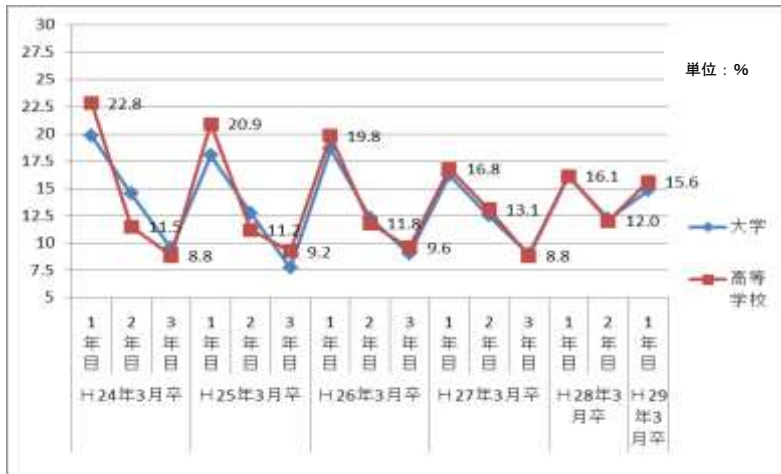


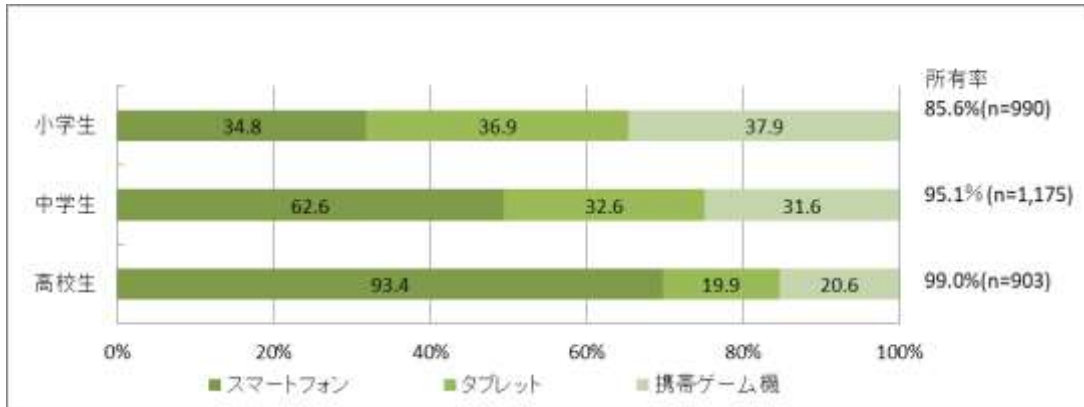
図8 高校・大学卒業後3年以内離職率の推移（平成30年度 岩手県）



(出典)：図6～8 厚生労働省岩手労働局

3) 技術革新や情報化社会の進展（スマートフォン、SNS の普及と弊害）

図9 青少年のインターネット機器所有状況（平成30年度・全国）



(出典)内閣府「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」

図10 インターネットやメールの一日の利用時間（平成30年度・岩手県）

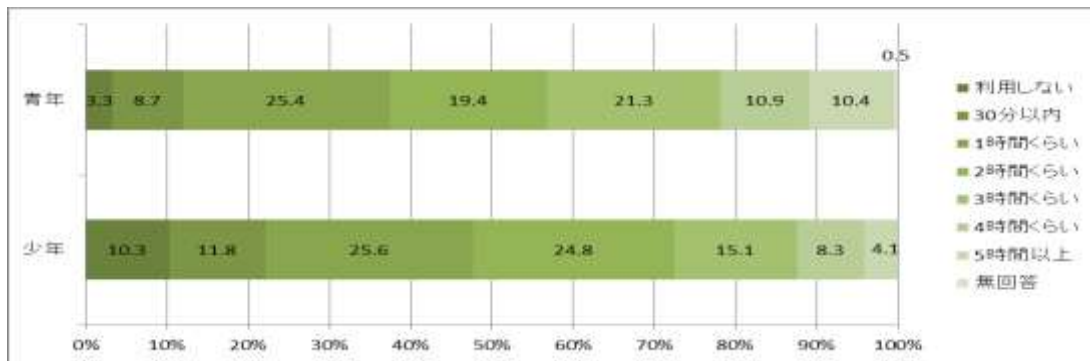
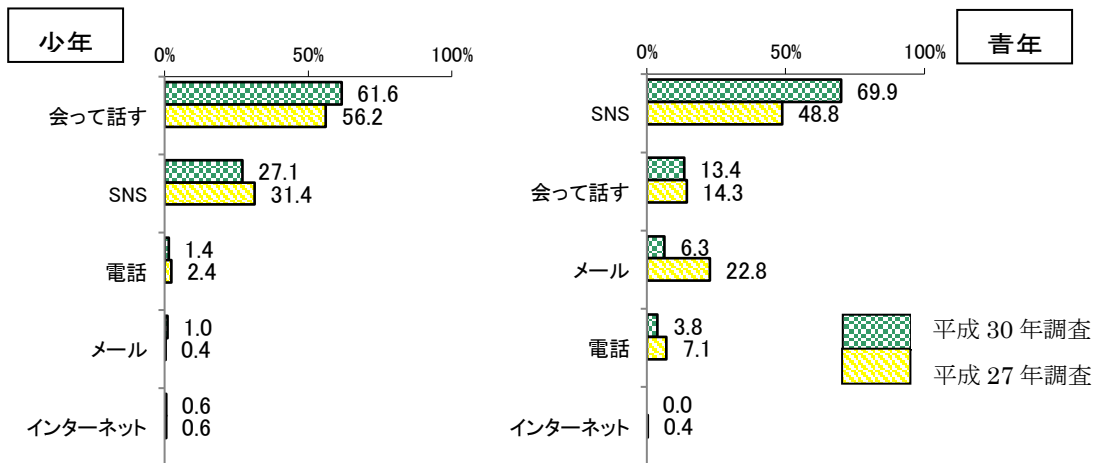
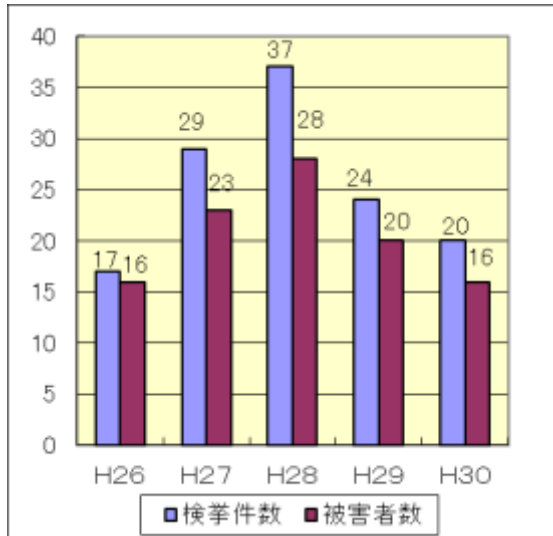


図11 友達とのコミュニケーション手段（平成30年度・岩手県）



(出典) 図10・11 岩手県「平成30年度青少年の健全育成に関する意識調査」

図 12 SNS等利用福祉犯（※1）の推移（平成 30 年・岩手県）（単位：件、人）



※1) 福祉犯：「少年の福祉を害する犯罪」の略称で、児童買春、児童ポルノ、子供への違法な薬物の提供、酒・タバコの提供、年少者の不法雇用等。

（出典）岩手県警察本部「平成 30 年少年非行の実態」

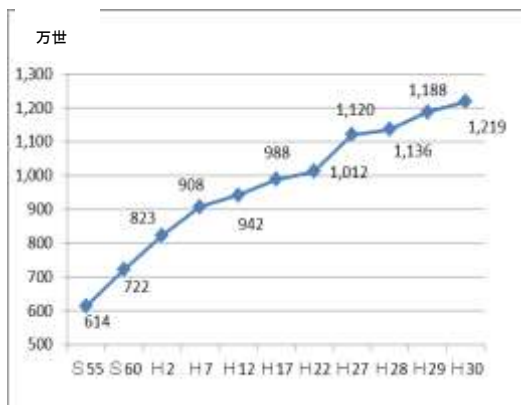
4) 家庭・地域の変容（家庭の養育力、地域の教育力の低下）

図 13 世帯数と世帯あたり人員数の推移（岩手県）



（出典）；総務省統計局「国勢調査」

図 14 共働き世帯の世帯数の推移（全国）



（出典）総務省統計局「労働力調査」

## 2 青少年の状況

### (1) 意識と行動の変化（県の意識調査から）

#### ○ 親と子の関わり

図 15 親子の会話（少年）（平成 30 年度・岩手県）

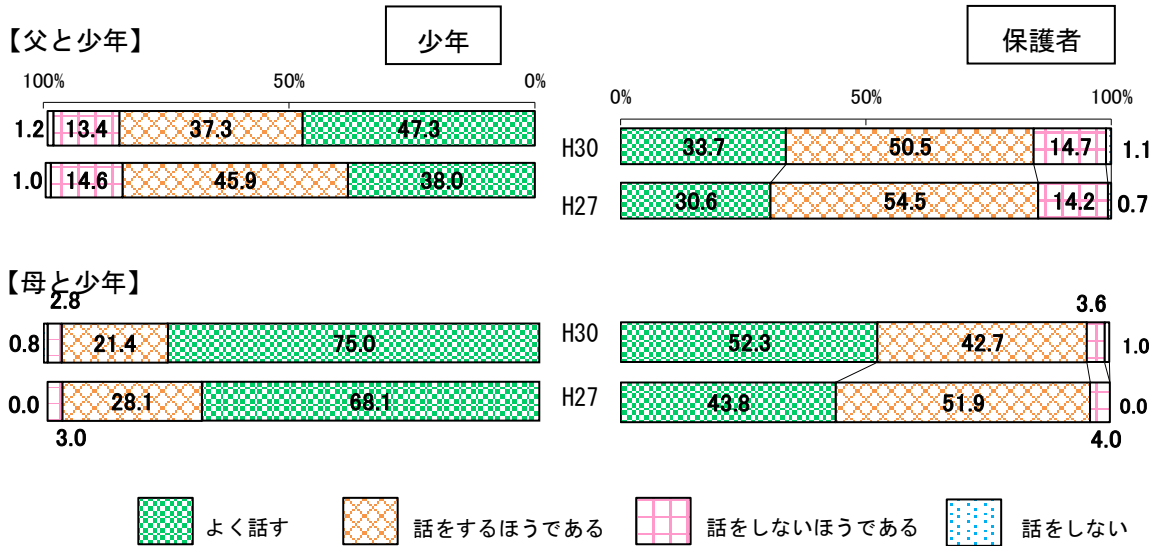
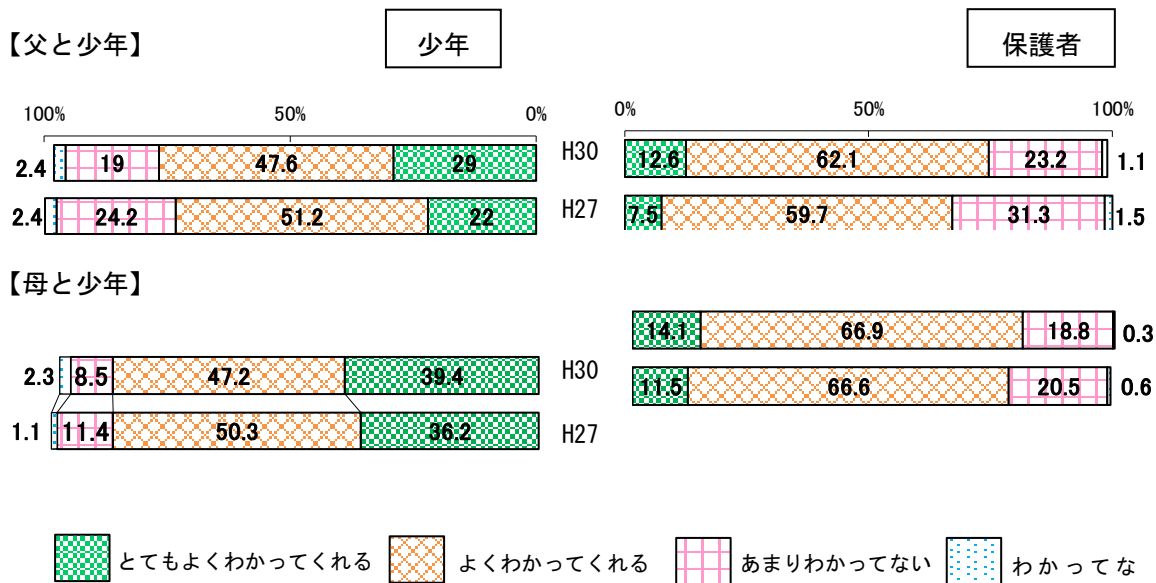


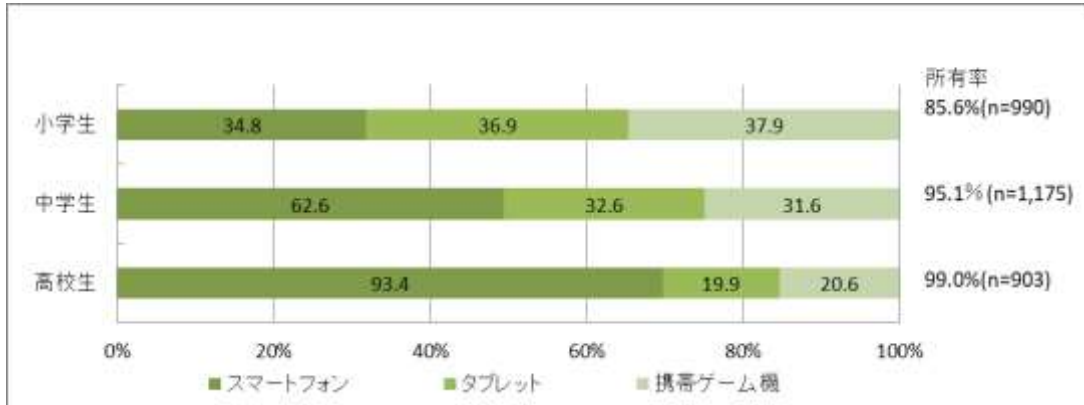
図 16 親子の相互理解（少年）（平成 30 年度・岩手県）



(出典) 図 15・16 岩手県「平成 30 年度青少年の健全育成に関する意識調査」

○ インターネットの利用（1青少年を取り巻く環境の変化(3) 図 9.10.11 再掲）

図 17 青少年のインターネット機器所有状況（平成 30 年度・全国）



(出典)内閣府「平成 30 年度青少年のインターネット利用環境実態調査」

図 18 インターネットやメールの一日の利用時間（平成 30 年度・岩手県）

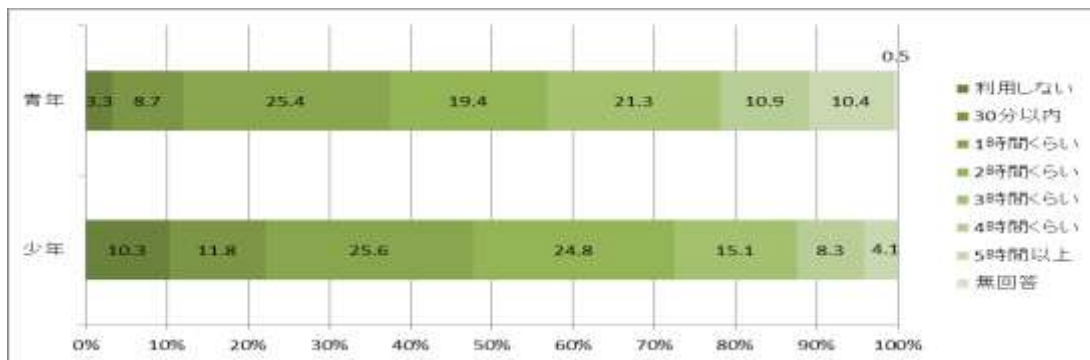
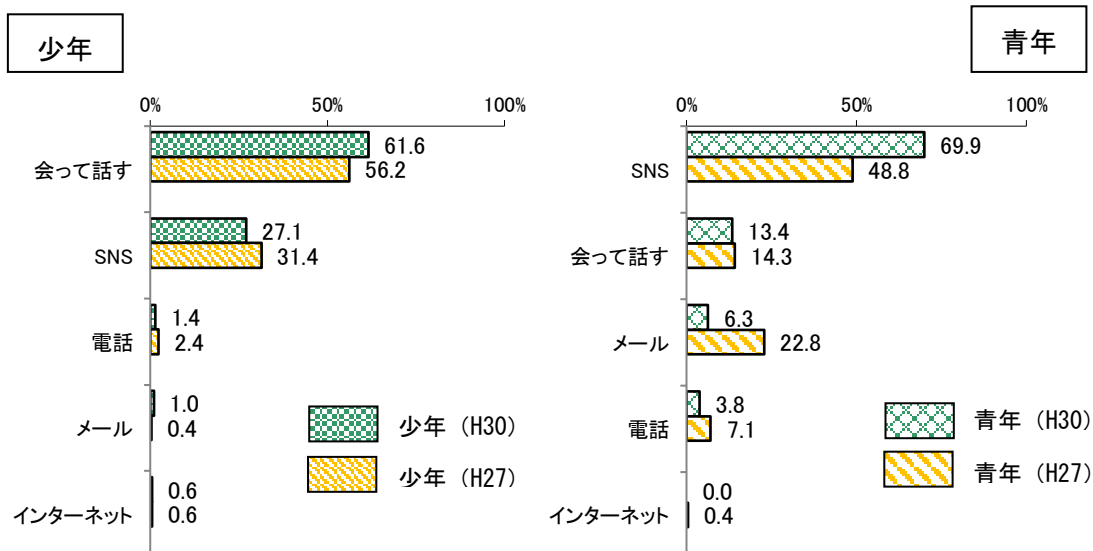


図 19 友達とのコミュニケーション（少年・青年）（平成 30 年度・岩手県）



(出典) 図 18・19 岩手県「平成 30 年度青少年の健全育成に関する意識調査」



○ 将来の夢

図 20 将来の夢（少年・青年）（平成 30 年度・岩手県）

（単位：％）

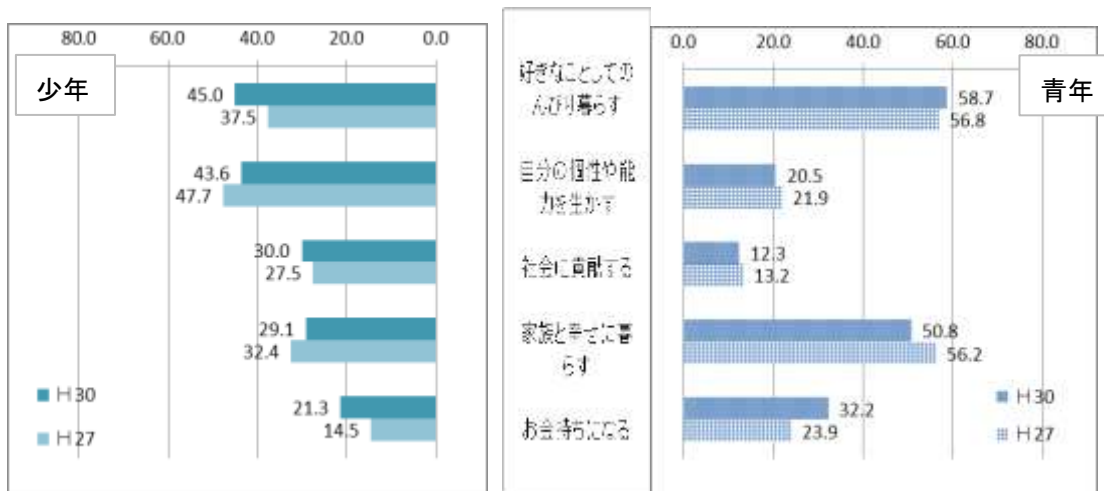
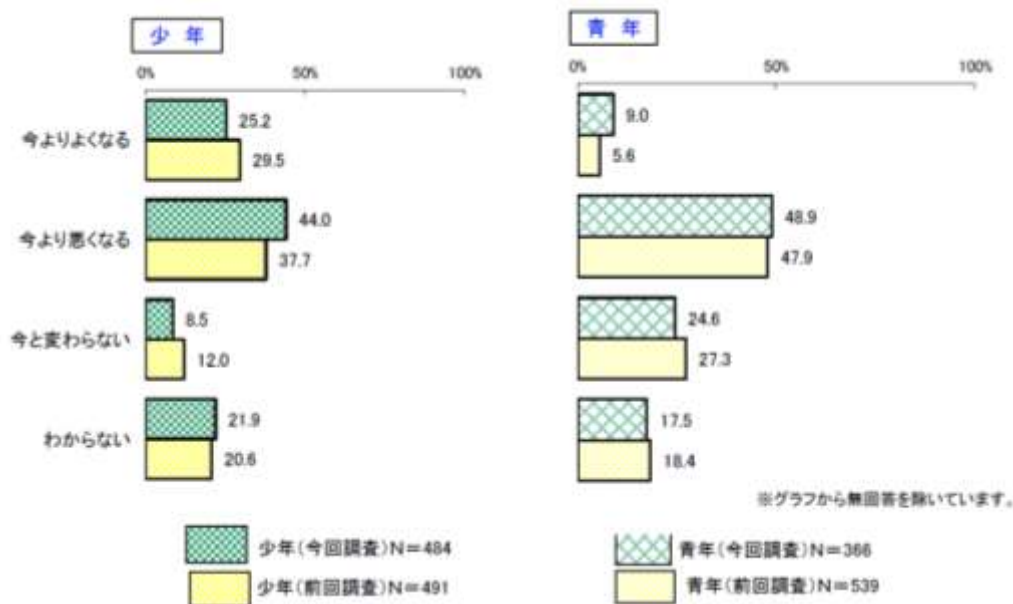


図 21 10年後の社会（少年・青年）（平成 30 年度・岩手県）



○ 地域への愛着

図 22 地域活動への参加（少年・青年）（平成 30 年度・岩手県）

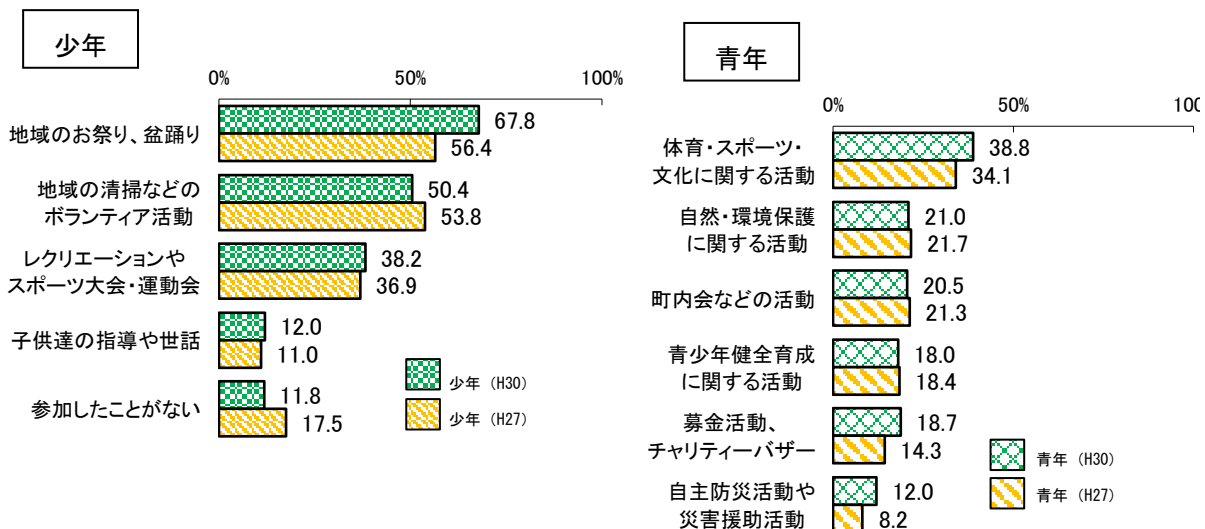


図 23 地域活動に参加したことがない青年の割合（平成 30 年度・岩手県）

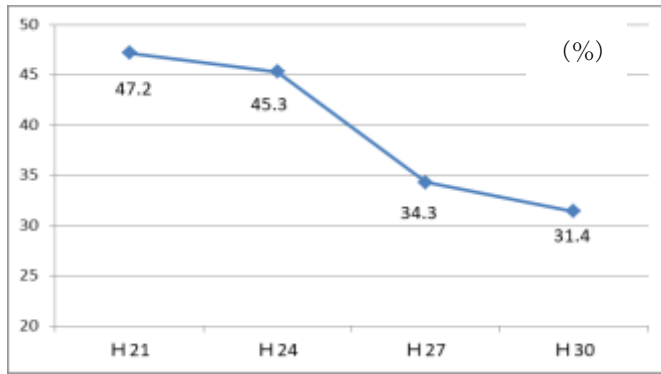
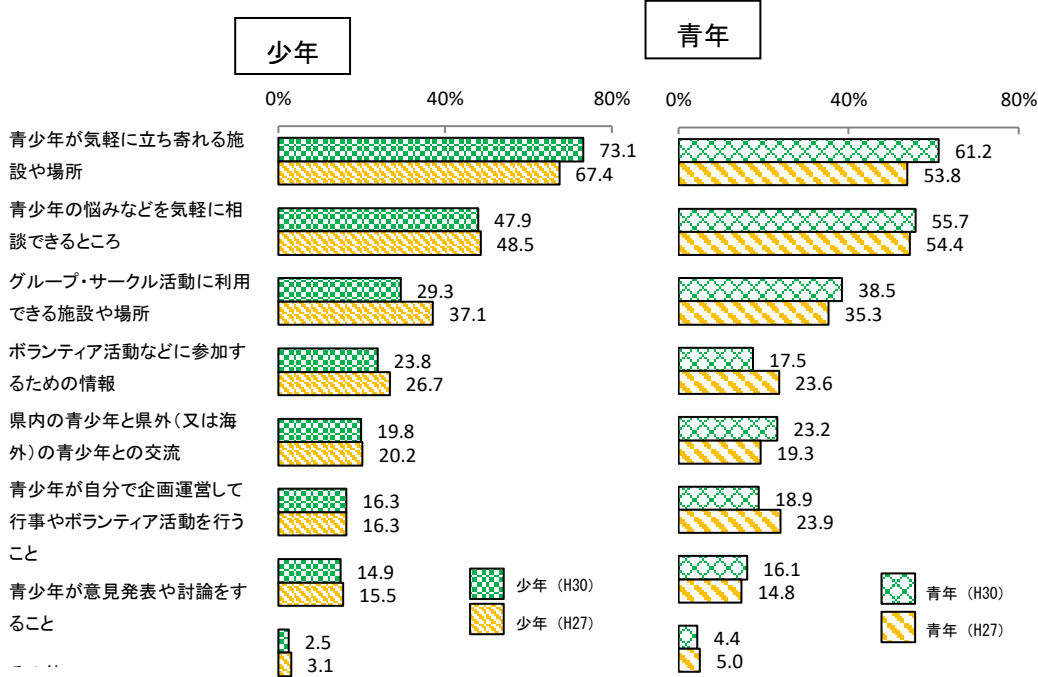


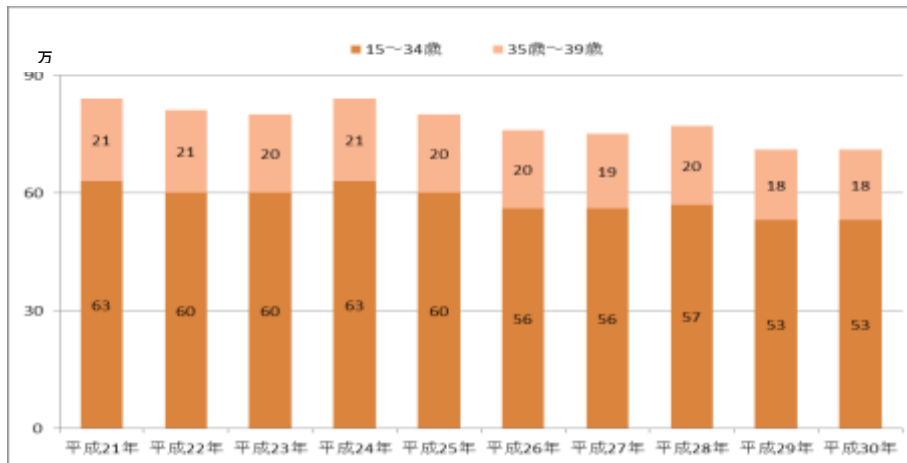
図 24 青少年に必要なもの（少年・青年）（平成 30 年度・岩手県）



(出典) 図 22・23・24 岩手県「平成 30 年度青少年の健全育成に関する意識調査」

(2) 困難を抱える子供・若者の問題の顕在化

図 25 若年無業者の推移（全国）



(出典) 総務省「労働力調査」

図 26 いじめの校種別認知件数の推移（岩手県）

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	認知件数	千人当たりの認知件数	認知件数	千人当たりの認知件数	認知件数	千人当たりの認知件数	認知件数	千人当たりの認知件数	認知件数	千人当たりの認知件数
H26年度	1,031	16.2 (18.6)	492	13.9 (15.0)	162	5.4 (3.2)	89	57.2 (7.3)	1,774	13.5 (13.7)
H27年度	2,302	36.9 (23.2)	765	22.0 (17.1)	157	5.3 (3.6)	50	31.9 (9.4)	3,274	25.5 (16.5)
H28年度	4,437	72.9 (36.6)	986	29.1 (20.8)	269	9.2 (3.7)	58	37.2 (12.4)	5,750	45.8 (23.9)
H29年度	4,995	83.4 (49.1)	1,378	42.3 (24.0)	241	8.5 (4.3)	39	25.6 (14.5)	6,653	54.3 (30.9)
H30年度	5,919	100.3 (66.0)	1,448	46.3 (29.8)	279	10.1 (5.2)	48	31.1 (19.0)	7,694	64.4 (40.9)

注（ ）内は（国・公・私立）の1,000人当たりの認知件数

（出典）文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

図 27 いじめはいけないことだと思う児童生徒の割合（岩手県）



（出典）文部科学省「全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙」

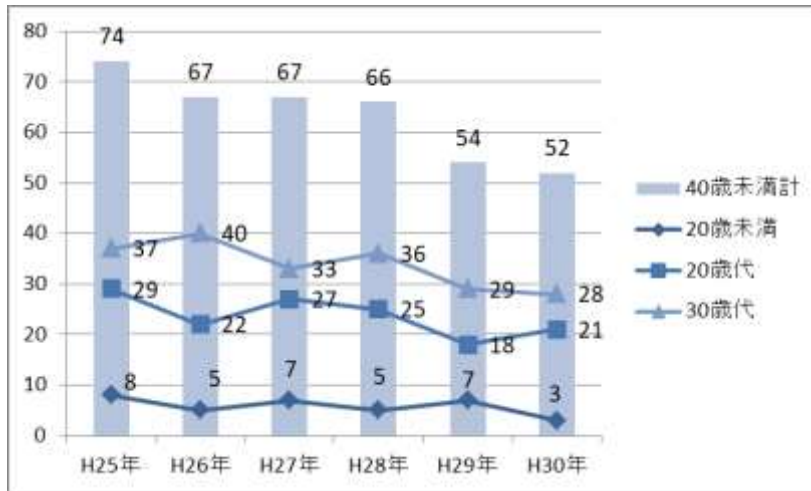
図 28 不登校児童生徒数（岩手県）

区分	小学校		中学校		小中合計	高等学校	
	人数	千人当たりの不登校児童数	人数	千人当たりの不登校生徒数	人数	人数	千人当たりの不登校生徒数
H26年度	143	2.2 (3.9)	791	22.3 (27.6)	934	354	12.2 (15.9)
H27年度	189	3.0 (4.2)	829	23.8 (28.3)	1,018	339	11.9 (14.9)
H28年度	183	3.0 (4.7)	876	25.9 (30.1)	1,059	377	13.4 (14.6)
H29年度	201	3.4 (5.4)	843	25.9 (32.5)	1,044	359	13.1 (15.1)
H30年度	283	4.8 (7.0)	975	31.2 (36.5)	1,258	337	12.5 (16.3)

注（ ）内は、全国（国・公・私立）の1,000人当たりの不登校児童生徒数

（出典）文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

図 29 年齢階級別自殺死亡率の年次推移（岩手県：人口 10 万人対）



（出典）厚生労働省 「地域における自殺の基礎資料」（自殺日・居住地別）

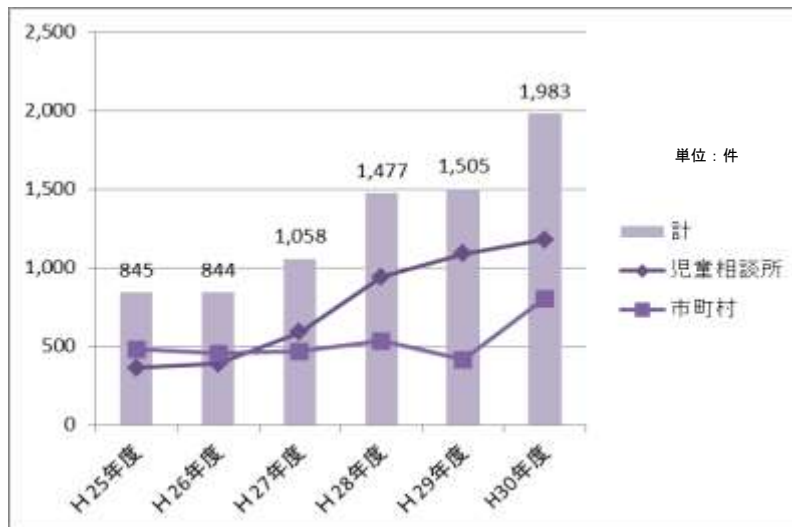
図 30 貧困率の推移（全国）

	S 60 年	H12 年	H15 年	H18 年	H21 年	H24 年	H27 年
相対的貧困率（※）	12.0%	15.3%	14.9%	15.7%	16.0%	16.1%	15.7%
子供の貧困率	10.9%	14.4%	13.7%	14.2%	15.7%	16.3%	13.9%
大人が一人と子供の世帯の貧困率	54.5%	58.2%	58.7%	54.3%	50.8%	54.6%	50.8%

（出典）厚生労働省「国民生活基礎調査」

※）相対的貧困率：等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の貧困線（中央値の半分）に満たない世帯員の割合。可処分所得とは、所得から所得税、住民税、社会保険料及び固定資産税を差し引いたものをいう。また、保育サービスのような社会保障給付による現物給付が含まれていない。

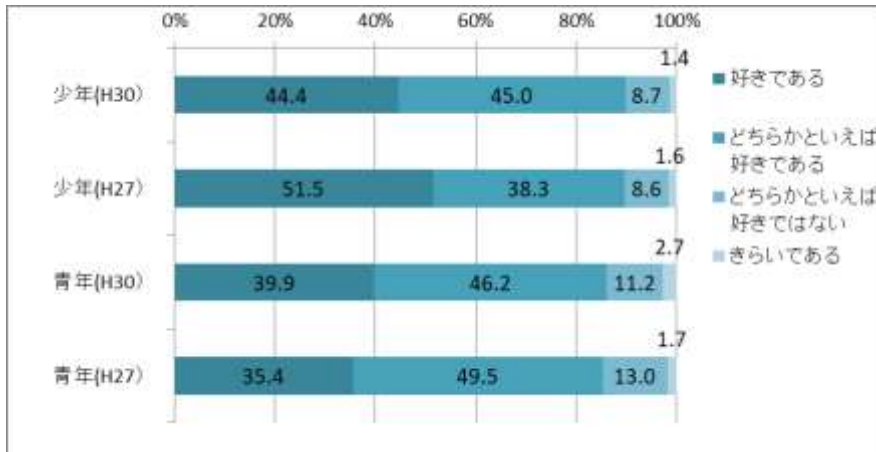
図 31 児童虐待相談対応件数（岩手県）



（出典）岩手県保健福祉部子ども・子育て支援課調べ

### 3) 東日本大震災津波からの復興

図 31 住んでいる地域が好きな青少年（平成 30 年度・岩手県）



(出典) 岩手県「平成 30 年度青少年の健全育成に関する意識調査」

※図表は「平成 30 年度岩手県青少年の健全育成に係る意識調査」「いわて青少年育成プラン（2020～2024）」より